

令和2年度 草津市教育研究奨励事業について

- 1 目的（概要） 市内の教職員・保育士の自発的な教育研究活動の推進を図る。
学校・園、学級等の経営や学習指導方法の改善と充実を図る。

2 応募部門

①	ステップアップ研究 (現職の経験年数は問わない)	これまでの研究実践をふまえて、さらに創造的な実践や今日的課題を追究する実践を積み重ねた研究
②	フレッシュ研究 (若手教員を対象とした研究)	経験10年未満の教職員が行う実践研究
③	就学前教育研究 (幼稚園・保育所・こども園の職員を対象とした研究)	幼児教育・保育の実践を整理し、レポートとしてまとめることによって教育力・保育力を向上させる実践研究
④	アイデア部門	日々の保育や教育活動で役に立つオリジナルのアイデアやあると便利なオリジナルのグッズを作成

3 応募点数（ ）内は、昨年度の応募数。

部門名	就学前教育	フレッシュ研究	ステップアップ研究	アイデア	合計
就学前	7 (5)			2 (0)	9 (6)
小学校		24 (17)	8 (12)	4 (5)	36 (34)
中学校		16 (11)	12 (8)	1 (0)	29 (19)
合計	7 (5)	40 (28)	20 (20)	7 (5)	74 (59)

4 成果と課題

【成果】

- ・昨年度と比較し、フレッシュ・アイデア部門の応募が増加した。特にフレッシュ部門は大幅に増えている。若い世代の熱意を感じる。
- ・各学校の強みや特色を踏まえたものやそれぞれが抱える教育的課題を克服するための工夫について実践したもの等、子どもたちの学びをより深めるための手法について研究が進められている。また、今年度はコロナ禍における対応の取り組みも多い。

【課題】

- ・昨年度に引き続き、実践報告中心で分析が弱いもの、次の研究への継続と深まりについて明確でないものがあつた。次年度の論文作成講習会は計画書が出されたあとの6月に行い、実践内容に加えてデータに基づく分析などを取り入れ、より説得力のあるまとめ方ができるように支援をしていきたい。